

ろうきん推進機構の取組

ろうきんには、他の金融機関にはない独自の組織があります。それが、「ろうきん推進機構」です。各労働組合の代表者で構成された自主組織で、労働組合が取組む労働者の福祉増進活動や、組合員に対して行う日常の世話役活動の中から出てきた様々な意見や要望などをろうきんとともに議論し、ろうきんの経営政策、商品やサービスに反映させる組織です。

東海ろうきんは、2020年度～2024年度の5カ年を第9期中期経営計画期間として、同期間における生活応援運動5カ年推進方針を推進機構とともに策定し活動を展開しています。

2019年度は、「生活設計」「生活防衛」の基本取組として財形貯蓄・エース預金のスリーアップ運動、「生活改善」の取組として、アンケートの実施やクレサラセミナーの開催、「生涯生活設計支援」の取組として資産形成セミナーの開催を「ろうきん推進機構」の主たる役割として掲げ活動を展開しました。

今回は昨年度に引き続き、推進機構のトップである東海運営推進会議の森議長に、議長としての抱負、推進活動と課題、推進機構とろうきんのめざすべき姿についてインタビューしました。



東海運営推進会議
森 崇博 議長
(三互労働組合 中央執行委員長)

東海運営推進会議

議長としての今年度の抱負をお聞かせください。

推進議長を仰せつかり2年目を迎えることになりました。

今年度は大きく2つの観点で運動を推進していきたいと思っています。

1つ目は、ITの普及によりAIを活用する技術がかなりのスピードで進化しています。

携帯電話から多くの情報を得ることができる世の中で、推進機構とろうきんが「世話役活動」を通じて、いかに組合員の皆さんの「安心・安定」を確保できるかを推進機構に関わるすべての皆さんと考え、行動していきたいと考えています。

2つ目は、昨年度、多くの推進委員会に訪問させていただきました。それぞれの推進委員会に特色があり、多くのことを学ばせていただきました。こうした推進委員会のあり方やRKKの活動事例、各会員の取組事例などを持ち寄り、組合活動に反映させ、ろうきん運動の活性化に繋げていきたいと考えています。

この2つの取組は、推進機構に携わるすべての皆さんのご理解とご協力が必要となります。皆さんと協力し合い組合員の皆さんの「安心・安定」に繋がっていきたくと考えています。

推進運動を行うなかでの課題と感ずるものはありますか。

「知らせる・知ってもらう活動」の難しさです。2018年・2019年と2度にわたり「組合員の生活応援運動」の一環としてアンケートを実施しましたが、まだまだ、ろうきんが主役になり切れていないと感じています。奨学金問題、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた勤労者の生活支援をはじめとする様々な商品が展開されていますが、組合員の皆さんにいかに興味を持ってもらえるか、商品を知ってもらうことができるかが重要だと考えます。今の時代、消費者金融などで簡単にカードローンを借りることができますが、高金利により返済苦に陥る可能性が考えられます。逆にろうきんは、手続きは簡易ではないかもしれませんが、組合員の生活改善や借入後の返済計画を鑑み貸出するため、そのあとの安心が保証されています。

ろうきん運動を通じたすべての活動の行き着くところは「知らせる・知ってもらう活動」です。この活動の重要性を今一度、推進機構に携わるすべてのメンバーと真剣に向き合っていきたいと考えています。



推進機構と〈ろうきん〉がめざすべき姿をお聞かせください。

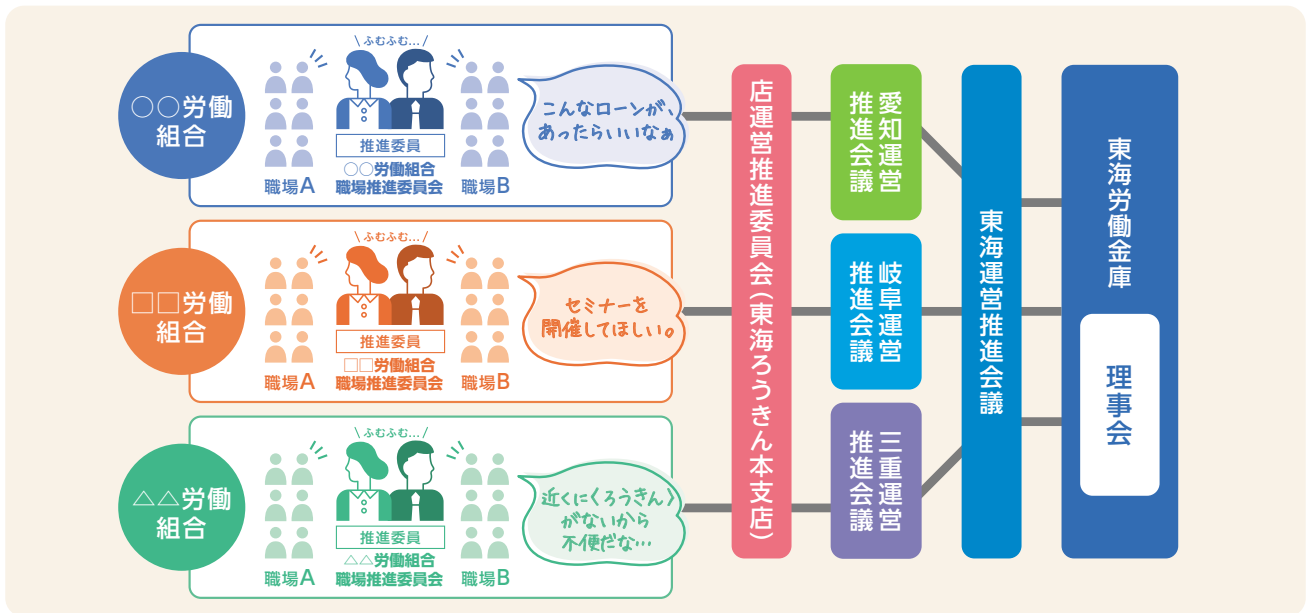
ろうきんと労働組合のめざすべき姿は同じであり「組合員の生涯にわたっての安心と安定そして幸せの追求」だと思っています。ろうきんと労働組合がそれぞれの役割と責任を果たすこと、いわゆるカウンターパート機能を発揮することが最も必要なことではないでしょうか。

決して、ろうきんと労働組合はお客さまの関係であってはならないと考えています。

ろうきんの価値観と労働組合の価値観を共有し、それぞれの目標達成のために最大限の努力をする。こうしたサイクルを回していくことが大切であり、結果としてろうきんが2019年3月に掲げた「ろうきんSDGs行動指針」の達成に貢献できると考えています。

お互いに「言うべきことは言い、決めたからには必ずやり遂げる」という強い信念を持ち、「組合員の生涯にわたっての安心・安定そして幸せの追求」をろうきんと共にめざしていきます。

ろうきん推進機構の仕組



全店運営推進委員長会議

全店の運営推進委員長が一同に会する会議です。ろうきん運営推進アドバイザーによる他のろうきん推進機構の取組紹介、タイムリーな話題を提供いただく外部講師による講演で構成されています。

2019年度は以下の内容で開催されました。

- 講演 1: **「人生100年時代の生き方と資産形成」**
講師: 株式会社リンク・イノベーション 中野 克彦 氏
- 講演 2: **「“ろうきん”が“ろうきん”であり続けるために」**
講師: ろうきん運動推進アドバイザー 竹本 晴彦 氏

●【ろうきん運動推進アドバイザー】とは

ろうきん運動推進アドバイザーは、全国のろうきん推進機構から選任されています。活動は労金協会および所属金庫との連携を図り、労金業態の取組む経営方針・営業推進方針に基づき、自らの経験や自金庫の推進機構の取組を活かし、ろうきん運動を推進機構、会員組合員へ、普及・推進することを目的とし活動しています。

①推進機構、会員組合員へのろうきん運動の普及・推進、②会員・組合員の立場に立った、労金職員の営業力強化に向けた動機づけと意識づけ、③学校教育や消費者教育などを通じた社会的役割の発揮が主な役割です。

東海運営推進会議からは、森議長が選任されています。

東海ろうきん会員研究集会

年に1回開催される集会で、毎年約200名のろうきん運動に関わる皆さまに参加していただいています。

集会は、外部講師による講演と分散会で構成され、分散会でいただいたご意見は、分散会報告として店運営推進委員会に還元し、その後の推進活動に活かしています。

2019年度は以下の内容で開催されました。

- 講演: **「令和時代の新家計戦略を考える ～今知っておきたい事&すべき事～」**
講師: 株式会社 LOVE ALL ONE 後藤 秀樹 氏
- 分散会: 第1～第8分散会「家計の見直し運動について」 第9～第15分散会「ろうきんFCについて」

店運営推進委員会表彰

支店・地域のろうきん推進活動の共有化を図るとともにさらなる活動の輪を広げ、新たな活動を推進していくことを狙いとしています。推進活動を具体的に進める店運営推進委員会の結束を固め、推進活動と理念を継承し、活性化を図ることを目的とした表彰制度です。

毎年度、各地区より【優秀賞】と【敢闘賞】を選定し、8月の東海運営推進会議で確定、11月の東海ろうきん会員研究集会で表彰します。